



2021年(令和3年)
1月20日
 第613号 (毎週水曜日発行)
 (株) 高齢者住宅新聞社
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
 ☎03-3543-6852(編集部)
 発行人 網谷敏数
 年間購読料 23,100円(送料込・税込)
 ホームページ
<https://koureisha-jutaku.com>

TOPICS

ニュース・総合 1・2面
 WAM
 コロナ禍の社福、経営分析
 在宅IoTでケアの質向上

介護Biz 3~8面
 組織の体質変える仕組み
 高齢者施設に対する意識調査
 “すぎ間ワーカー”戦力に

人材・キャリア 9面
 「生きがい就労」の人材バンク

商材・サービス 13・14面
 ONODERA USER RUN
 特定技能10名入国

関西 17・18面
 「若い世代と交流」男性は積極的
 医療機関に特化し設計・施工

ヘルスケアフォーカス 20面
 三井不動産レジデンシャル
 大阪で超大型有老

在宅特化の薬局展開

「チーム医療」で多剤投与解消

グリーンエイトセントラル薬局グループ(さいたま市)は、訪問服薬指導に特化した「セントラル薬局」を展開している。同社はポリファーマシーの解消に注力。薬剤師が訪問先の施設職員などとチームを組んで、服薬の適正化を図っている。昨年夏からは、自社の管理栄養士を派遣し栄養管理を行う取り組みも開始。薬と食の両面から患者をサポートしている。

在宅医療最前線

グリーンエイトセントラル薬局グループ
 同社は2021年1月時点で、埼玉県をはじめ東京都、神奈川県で9店舗を展開している。患者数は約7700人で、その多くは高齢者施設の入居者となっている。47法人200施設に訪問している。同社の売上の95%は「訪問服薬指導」だ。

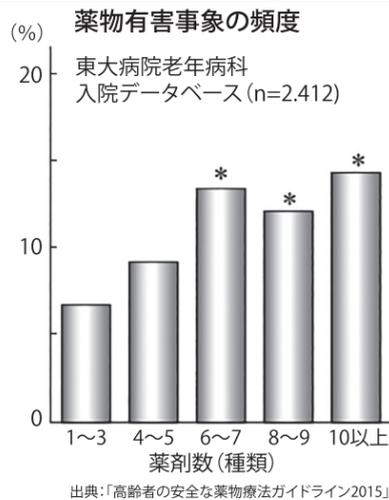


グリーンエイトセントラル薬局グループ
 田中宏和社長

薬剤師、在宅需要増 多職種連携は必須に

後需要の高まる在宅医療で薬剤師が求められると、訪問特化のサービスを提供することになった」と語る。田中社長は語る。

「薬・医・介」連携で薬最適化
 セントラル薬局が特に注力する取り組みは、「ポリファーマシーの解消」だ。加齢に伴う肝臓機能の低下などで、代謝・排泄が悪くなった高齢者では、薬による有害事象のリスクが高まる。日本老年医学会の「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」では、高齢入院患者の薬剤数と薬物有害事象の頻度を解析した報告で、服用する薬が6種類を超えた場合に有害事象の発生頻度が高まると報告がなされている。



「処方適正化は、薬剤師が行動するだけでは達成できない。そこで、訪問先の現場では多職種連携で問題解決に向けて行動する『チーム医療』の実践を重要視している」と田中社長は語る。

同社では、医師の訪問診療に薬剤師2人が同行する体制を基本とし、薬剤師は薬のセッティングに加えて、看護・介護職員から患者のバイタルデータをはじめ、排便の回数や活動量などの生活情報を入念にヒアリングする。それらに基づいた処方方を医師に提案することで、ポリファーマシー解消につなげる。

ワクチン優先範囲、拡大を



要請書を提出する園田修光参議院議員(右)と菅義偉首相(左)

菅首相に要望

要請書では、厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について(案)」において、ワクチンの優先接種対象に、在宅系サービス事業所の介護従事者が含まれていない点について言及。在宅系サービスは「地域生活を維持する高齢者などにとって不可欠」として、優先接種の必要性を訴えた。

「医師からは薬剤師がもたらす患者の情報判断材料として非常に有益である」という声も聞かれています。田中社長は「チーム医療」の実践を重要視している」と田中社長は語る。

同社では昨年夏頃よりさらにチーム医療を深めるため、在宅医療の現場で自社の管理栄養士を加えた栄養サポートチーム(NST)を形成し患者の医療と

「医師からは薬剤師がもたらす患者の情報判断材料として非常に有益である」という声も聞かれています。田中社長は「チーム医療」の実践を重要視している」と田中社長は語る。

同社では昨年夏頃よりさらにチーム医療を深めるため、在宅医療の現場で自社の管理栄養士を加えた栄養サポートチーム(NST)を形成し患者の医療と

- 1月20日以降の主な動き**
- 1月21日(木)**
 ○高齢者住宅新聞社「介護現場の生産性が向上する食事改善セミナー～Withコロナで変わる食事サービスの運営手法～」(オンラインセミナー)
 - 1月22日(金)**
 ○高齢者住宅新聞社「Withコロナの最善の介護経営セミナー」(会場/福岡 TKPガーデンシティ博多 ※オンライン同時開催)
 - 1月23日(土)**
 ○東京都・公益社団法人東京都看護

- 協会「訪問看護フェスティバル」(オンライン開催)
- 一般社団法人性と健康を考える女性専門家の会「かかりつけ薬剤師・健康サポート薬局の視点からみたメディカル・ギャップ ～制度をいかに活用するのか」(オンラインセミナー)
- 1月26日(火)**
 ○高齢者住宅新聞社「第2回住まい×介護×医療サミット～介護保険制度改正・報酬改定直前セミナー～」(オンラインセミナー ※26・27日連続開催)

介より始めよ

今年「丑」年、十二支のうち2番目の干支にあたる。干支の順番を決める有名な昔話では、歩みの遅い牛はレースに勝つため、ほかのどの動物よりも早く出た。辛抱強く地道に進み続け、最後は2着でゴールインした。▽牛は古くから農業・輸送などで勤勉に働き、人類を重労働から救ってくれた。その様子から、丑年は「我慢(忍耐)」の年とされている。今年も忍耐強く感染症対策に努めたい。